

事務事業 No./名称	■サービス部門 健福-42 健康情報システム構築運用事業				ザイムスコード及び個別事業名				
		□支援部門				1351	健康情報システム構築事業		
主管課	市民健康課		関連課	保険年金課・高齢者いきいき課					
分野名	健康福祉								
目標 (目標値)	受診券発送から総合判定結果までのシステムの構築により市民の健康診査のデータ管理をし、市民の健康維持に努める。								
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考					
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)					
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯						
運営資源 状況	決算値	19,108千円	16,171千円						
	(国・県)	334千円	0千円				指標と評価		
	(負担金等)	0千円	0千円				指標	同一システムの構築	
	(一般財源)	18,774千円	16,171千円				評価	△	
	人員配置数	0.7人	0.7人				◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		
	人件費	6,493千円	6,556千円					目標値	実績値
	協働の パートナー	NTT IT	NTT IT						
事務事業 運営経費	総事業費	25,601千円	22,727千円	20年度					
	市民1人当 りの経費	145円	129円	21年度	検討	-			
	対象者1人 当りの経費	-	-	22年度	検討 準備				
ベンチマーク (県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名			23年度	構築				
				最終年度 (年度)					
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 国保特定検診とがん検診等の受診券を一体で送付できなかった。 生涯にわたる健康管理・づくりを目標としているが、現在は20歳以上の市民の健診情報と、母子・妊婦等の健診等の情報が同一システムに構築できていないため、家族単位・地域での状況判断ができない。							
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 国保特定検診とがん検診の受診券を一体で送付をした。							
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 生涯にわたる健康管理・健康づくりを目標としているが、現在は20歳以上の市民の健康情報と、母子・妊婦等の健診等の情報が同一システムに構築できていないため、家族単位・地域での状況判断ができない。							
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 上記の同一システム構築に向け、検討していく。							
一次評価(課長評価)			二次評価(部長評価)						
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了									
評価結果	改善の必要性			評価結果	改善の必要性				
B	有	市民にとって受診しやすいシステム構築、利用方法を今後さらに検討する必要がある。		B	有	受診しやすいシステム構築を今後検討していくことが必要である。			
課長名	市民健康課長 相川 誉夫			部名・部長名	健康福祉部長 石井 和子				